

平成 27 年度認定



氏名	たかだ こうしょう 高田 光紹	生年	昭和 23 年生
住所	栃木県栃木市		
品目	ハトムギ ・ イネ科ジユズダマ属で穀実は漢方薬のヨクイニン（イボ治療や美肌） ・ ペットボトル飲料茶や雑穀米の原料として国産ニーズが向上 ・ 水田転作作物として各地で導入 ・ とちぎ地域ブランド農産物に認証		
技術	麦後の乾田直播・粗植栽培と追肥重点型施肥による安定多収栽培技術 ・ 麦跡に栽培して全国平均の 2 倍以上の反収を実現（300 kg/10a） ・ 乾田にドリルシーダーで直播し、疎植（3 kg/10a）で栽培 ・ 生育後半に 2 回、追肥する追肥重点型施肥法を確立 ・ 極大粒の尿素により散布作業の安全性と効率性を両立 ・ 新品種「あきしずく」を導入、採取圃を設置して他県にも原種を提供		
活動状況	・ 平成 3 年に高田氏が働きかけてハトムギの試験栽培に着手（2 名で 0.9a） ・ 平成 17 年に「小山はとむぎ生産組合」を発足させ、大幅に規模を拡大 ・ （平成 21 年 110ha、原発事故の影響で半減したが、平成 27 年には 70ha に回復） ・ 独自の栽培暦を作成・配付するとともに、栽培技術講習会を年 2 回開催 ・ ハトムギに使用可能な農薬の登録試験に協力（使用農薬が拡大） ・ 市内の小中学校の給食にハトムギを無償提供し献立に導入 ・ 収穫物を全量買い取り、飲料メーカー等に納入するほか、ハトムギを活用した、うどん、納豆、ジェラード等の加工品の開発に協力、おやまブランドとして登録 ・ 平成 29 年 8 月 23 日に栃木県をはじめ全国から 100 の参加者を招き全国ハトムギ生産技術協議会の夏期現地研修会を栃木県小山市で開催。 ・ 農業者の高齢化にともない、生産技術の省略があり、100a 当たりの収量の停滞が感じられる。小山市は茨城県にある農研機構と近いと、いろいろアドバイスを受けて将来に向けて進めてたい。		

	相談に 応じられる 分野・内容	ハトムギについて、栽培の歴史や効用、国産・外国産の価格や流通状況等の説明、安定多収栽培のための施肥や病害虫防除などの技術相談や指導、行政や生産組織等での講演会の講師や視察の受け入れ、収穫されたハトムギの買い入れ、テレビ等報道機関の取材の受け入れ、番組出演
	受賞歴	該当なし
	主な役職	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社高田肥料店 代表取締役 ・ 平成 25 年～ 全国ハトムギ生産技術協議会副会長
	HP	該当なし